

4月	豊川 愛護モニター報告	モニター区間	豊川：左右岸 6.2km～17.8km 管轄出張所：豊川流域治水出張所
実施日		実施区間	吉田大橋～賀茂橋

3月下旬から順調に雨が降りはじめたおかげで、宇連ダムや豊川の水量も回復し、4月28日には昨年8月から続いていた節水対策もようやく解除された。一時はどうなることかと心配していたが、豊川もふつうに水が流れる姿を取り戻した。



牛川の渡しの川面

水量が少ない時、干潮時には赤茶色の水が遡上し、清流とはほど遠い状態だった。



満々と水をたたえる牟呂用水

先月はこのすぐ上流で豊川から汲み上げた水を流していた。

昨年からは沖野（吉田城から朝倉川を渡った一帯）では豊川沿いの遊歩道の整備工事をしてきたのだが、その工事が終了し通行が可能となった。以前は林間のハイキング道といった感じだったが、道路周りの木の枝が伐採され、道路が拡幅されるとともにバラ石が敷き詰められた。全体的に明るく、広くなり、ハイキング道というよりも公園の遊歩道といった雰囲気になった。遊歩道の途中に大規模に河畔林を伐採した部分がある。地面がそのままむき出しになり、埋設物もそのまま放置された状態で工事は終了しているようだが、今後ここがどのように整備されるのだろうか。散策する人たちがのんびりとすごせる場所になるといいのだが。

この遊歩道や堤防道路は休日に限らずジョギングや散歩をしている人を見かける。豊橋市のサイト「とよはしネイチャースポット保全マニュアルー沖野・金色島 (<https://www.city.toyohashi.lg.jp/4403.htm>)」でも紹介されている。市の中心部からそんなに離れていないにもかかわらず自然が楽しめるちょっとした穴場だ。

